



第3回国連防災世界会議 公式パブリック・フォーラム

Model Village をつくる

～新しい農業と安心・安全で豊かな農村の姿を目指して～

(主催：東北大学大学院農学研究科 東北復興農学センター)

平成27年3月14日(土) 13:30～15:30

in 東北大学 川内北キャンパス 講義棟 C棟202

東日本大震災直後のエネルギー・物資の供給は困難を極めました。この経験を踏まえ、当センターの教育プログラムを受講した復興農学マイスター・IT農業マイスター13名が、4つのテーマに分かれてエネルギー及び食料の自給自足・自立型 Model Village を提案します。震災以後、急速な高齢化と過疎化が進む東北の農村に最先端の技術と人々の知恵を結集し、再び豊かな生活を送りたい。Model Village のあり方を、ワールドカフェ方式により参加者全員で議論します。

参加費：無料 定員：100名

■農業がかっこいい

金鑫（農業経営経済学・修士2年）・市川晋（環境適応生物工学・修士1年）・黒岩直人（フィールド社会技術学・修士1年）・中井裕（資源循環エネルギー科学・教授）

■How to produce biomass energy in your area -Sustainable energy for all-

馬場保徳（環境システム生物学・日本学術振興会特別研究員）・吉田慎吾（土壌立地学・修士1年）・真壁拓仁（遺伝子情報システム学・学部4年）・多田千佳（資源循環エネルギー科学・准教授）

■森林の防災機能と多面的機能を生かした農村の提案

長南友也（作物学・修士1年）・成田佳寿美（水圏植物生態学・修士1年）・菅波真央（植物栄養生理学・学部4年）・佐藤郁奈（生命化学・学部3年）・陶山佳久（生態適応復興科学・准教授）

■地域の安全と環境を守る農業、その活性化について考える

早坂由真（植物生命科学・学部3年）・渡部智寛（植物生命科学・学部2年）・古屋聡（植物生命科学・学部2年）伊藤豊彰（生産環境修復科学・准教授）

【お申込・お問合せ】

東北大学大学院農学研究科 東北復興農学センター事務局
〒981-8555 仙台市 青葉区堤通雨宮町1-1
電話 022-717-8934 E-mail tascr-agri@ml.tohoku.ac.jp
<http://www.tascr.agri.tohoku.ac.jp>

東北復興農学センター

検索

◆会場には駐車場がありません。公共交通機関をご利用下さい◆

仙台駅前乗り場案内



東北大学・川内キャンパス バス停案内

